

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	薬価基準改正経費	事業開始年度	—			作成責任者
担当部局庁	保険局	担当課室	医療課			鈴木 康裕
会計区分	一般会計	上位政策	医療保険制度の推進に推進に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条、第77条	関係する計画、通知等	「平成20年度薬価制度改革の骨子」、「平成22年度薬価制度改革の骨子」、「平成20年度診療報酬改定の基本方針」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	診療報酬改定に併せて「診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)」の規定に基づき定める「使用薬剤の薬価(薬価基準)(平成20年厚生労働省告示第60号)」の改正を行うに際し、当該基準既収載品の薬価の改定は市場実勢価格加重平均値調整幅方式等により算定することとなっており、この算定を正確かつ精密に行うために必要なデータの集計・整理を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既収載医薬品(約1万5千品目)の薬価算定の基礎資料とするため、医政局経済課が過去3カ年間に実施した薬価調査のデータ及び隔年で実施する薬価本調査のデータを用いて、全薬価基準収載医薬品について薬価調査結果の概要を整え、品目ごと、薬効群ごと等の薬価ベース取引金額、使用量の推移等が解析できるデータを作成する。					
実施状況	一般競争入札方式により、落札した法人と契約を行い、調査研究事業を委託した。 平成22年4月の薬価改定が円滑に行えるよう、薬価調査のデータの十分かつ正確な分析を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	12	12	12	12
	執行額	—	—	9		
	執行率	—	—	73.3%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	法人とは適宜連絡を取っており、事業の実施状況は十分把握できていると考える。				
	見直しの余地	平成21年度においては、入札により落札した法人と契約を行った結果、契約金額が予算額を下回った。 平成23年度においても、薬価制度の企画・検討を行うための基礎データを得るために本事業を一般競争入札により実施する予定であり、落札価格が不明なことから前年度予算と同額を要求。				
予算監視の効率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記	平成19年12月の中医協において、「今後、後発品の流通量が増大すると想定されることから、その価格及び数量を適確に把握できるよう、薬価調査を充実させることとする」との決定がなされたことから、薬価調査の分析を行う本事業の重要性がより高まっている。 また、平成22年度の薬価制度改革において、新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度が試行的に導入されたところであり、その市場実勢価格について経過をフォローする必要がある。					

厚生労働省  
9百万円



【一般競争入札】

A. (株)シーディーエス  
9百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.(株)シーディーエス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	帳票印刷・帳票出力オペレータ	5			
人件費	プログラム作成	2			
人件費	算定支援(SE)	1			
その他	印刷費、通信費等	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)